

新春

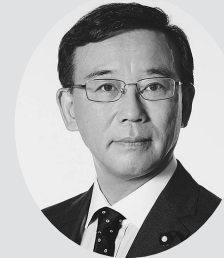
特別寄稿

わが国の経済は、全体として持ち直してきているとは言うものの、大都市と地方の経済格差の広がりには顕著であり、とりわけ、私たちが暮らす地方においては、未だ厳しいのが現状です。また、デフレ化の傾

年頭のご挨拶

衆議院議員
自由民主党 総裁

谷垣 禎一



新年明けましておめでとうございます。

舞鶴市の皆様には平素から私の政治活動に深いご理解とご協力を賜っておりますこと、とりわけ昨夏の衆議院総選挙には力強いご支援を賜り、わが党への厳しい逆風の中、全国でも数少ない選挙区での当選を果たすことができましたことを心から感謝申し上げます。

さて、昨年の総選挙により、50年ぶりの政権交代となりました。

今日までわが政権の採ってきた道は大筋で正しかったことを自負しておりますが、同時に、この度の自民党敗北の原因として、社会主義崩壊後の世界全体の大きな変化への対応が十分であったか、また、小泉改革によって生じた陰の部分に目を当てる、すなわち改革に伴う痛みに対しての政策的配慮が足りなかったのではないかなど、検証しなければならない点も多くあります。

今、わが党は政権を離れたことによって、長年のしがらみを絶ち、再起動したディスプレイにフリーハンドで政策を描ける絶好の機会にあります。

健全な与野党が、時に政権を交代するシステムは国内、或いは国際社会の変化に対応する有効なものですが、しかし今回の民主党政権のように、とにかく政権を取り、未だ政策の全体像も国論も無いままに、これから先のことは歩きながら考えようと言うのでは、今の重要な局面を乗り切ることではできず、いたずらに社会の混乱を招くばかりでなく、混乱の中で地方行政を確実に組み立てていかねばならない自治体に大きな負担をかけることとなります。

舞鶴市は北近畿の中核として、またアジア大陸の北の玄関口として、今日の繁栄を築いてきました。

今春には舞鶴国際ふ頭が完成する予定ですが、多目的国際ターミナルとしてこれをフルに活用するに

は、残る臨港道路の完成、京都縦貫自動車道の全線開通、更には鳥取・豊岡・宮津自動車道の整備により、山陰、若狭との連携等々、道路ネットワークの整備が不可欠となります。

また、舞鶴市の豊かな海産資源、歴史と文化に立脚した観光資源を生かした産業の振興、商工業の発展にとっても、これらの事業は極めて重要なものであり、地方の声を無視した単純な財政論のみで中断したり遅らせたりすることは避けねばなりません。

他にも地域医療の問題、都市計画道路の見直し等々、舞鶴市も喫緊の重要課題を抱えながらの2010年の幕開けとなりました。

わが自民党は50年間 長い階段を上り続け、今、踊り場に立っておりますが、野党とはいえ、わが国の過去にも、そして将来にも大きな責任を背負った責任政党として、再び次の階段に向かい、踏み出さねばなりません。

わが郷土と国の将来に誤まりなきを期し、皆様と共に全力を尽くしてまいりたいと存じます。

どうか本年も変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます、併せて舞鶴市の限りないご繁栄をお祈りし年頭のご挨拶といたします。

